駒澤大学 学園通信 2026年10月号

Konnect

KOMAZAWA × Connect



「東急電鉄キャラクター のるるん」



駒大で、つながる知・人・想い

OCTOBER, 2026
FREE MAGAZINE

INSIDE Konnect

「駒大防災ハロウィン」連動特集
被災時に、命を守る「基本のき」

▶KOMAZAWA CROSS ［東急電鉄株式会社］×［駒澤大学鉄道研究会］
▶支援の達人。「国際センター 編」
▶駒大サポート便利帖「駒澤大学独自の留学・語学支援」

VOL.361



case 1

キャンパスにいて、
大きな揺れを感じたら

いざという時？NO！
今すぐ知ってほしい

被災時に、命を守る基本のき

地震は前触れや予報がなく発生します。しかも、いつか必ず。
そんな予測できない自然災害に襲われた時に命を守る行動は
“その瞬間”に直面してから考えたのでは間に合いません。
「備えあれば憂いなし」。古くからの教えに倣い
平常時にこそ、安全確保の基本行動を理解しておきましょう。

被災直後　最優先は自身の身の安全

- DO　非常放送に従う
- DO　「教室内では」机の下に入り脚をしっかり持つ
- DO　かばんや上着、ノートなどで頭部を保護
- CHECK　ガラス窓、背の高い本棚などから離れる
- NG　慌てて外に飛び出さない（その場にとどまる）

大きな揺れを観測した直後（火災でも）に流れる非常放送に従い、落下物などから頭部を守ってください。屋外に飛び出すなど慌てた行動は禁物です。

揺れが落ち着いたら　自身の安全が確保されてから

- DO　引き続き非常放送や教職員の指示に従う
- DO　出入り口のドアを開け、避難経路を確保
- DO　移動は、頭上や足もとを注意しながら
- CHECK　火の元を確認（実験室など）
- CHECK　家族の安否確認
- NG　エレベーターは使用しない

被災時は心配な心を抑え、家族や友人の安否確認も状況が落ち着いてからにします。



column　駒澤大学の備え

FOOD

5,000人×3日分

駒沢キャンパスでは、「緑の丘（3号館）」1階の防災庫にライフラインが止まった場合に備え、約5,000人×3日分の物資を備蓄するほか、災害対策用の情報通信機器を備えています。
また学内の各所に設置した非常灯や誘導灯、消火器や屋内消火栓、高い階から地上に降りられる緩降機や避難はしご、防火シャッター、スプリンクラーなどにはそれぞれ説明書がついていて、緊急時は誰でも利用できます。

[防災庫に備蓄している主な物資]
パン、水、レトルト食品、クッキー、簡易トイレ、アルミブランケットなど。

※「防災ハロウィン」の期間中、防災庫内を見学できます。また使用期限が迫った備蓄品を無料で配布します（先着順）。

column　被災時の行動原則



「押さない」「走らない」は避難移動の原則。「しゃべらない」は指示の聞き逃しや誤情報の拡散を防ぐため。「戻らない」「近づかない」は、建物の倒壊や爆発から命を守る行動です。

今年も開催!

体験型防災イベント

駒大防災ハロウィン



楽しみながら、防災を体験

秋の恒例行事になった「駒大防災ハロウィン」を10/27（火）～ 29（木）に開催しました。普段は非公開の防災庫や防災センターを見学するツアー、煙の中での避難や初期消火、救命体験、震度7などの体験会を実施。楽しみながら、いざという時の行動や備えについて考える機会となりました。

[問い合わせ先] 学生支援センター学生支援推進課

詳細はこちら⇧



case 2

通学・帰宅途中、自宅で被災



安否の報告

普段から利用しているKOMAnet Gmailのアカウントに、「**ALSOK安否確認サービス**」のメールが届いた際は迅速な回答をお願いします。安否確認メールは、気象庁の震度速報が東京都（島しょ部を除く）、神奈川県、埼玉県、千葉県で最大震度5弱以上を発表した場合に発信されます。

平常時に確認しておきたい避難場所

	避難場所	
	学内（屋外）	学外（広域避難場所）
駒沢キャンパス（コミュニティ・ケアセンター含む）	正門～図書館～記念講堂～北門に至る通路・スペース	駒沢オリンピック公園一帯
大学会館 246	大学専用道路～北門～駒沢キャンパス内	
法科大学院棟	北側駐車スペース ※火災時は敷地外へ	
仏教研修館 竹友寮	正面駐車スペース ※火災時は敷地外へ	
深沢校舎	北門側駐車場	
玉川校舎	サッカー場・多目的グラウンド	多摩川河川敷・二子橋一帯 ※大雨・洪水時は不可
祖師谷寮	硬式野球部野球場・屋内練習場	第一生命グランド一帯（世田谷区給田1丁目1）

Check It Out!

現在地からの緊急避難場所



教場内に、その場所から最寄りの緊急避難場所や災害別の避難法を記した掲示物を貼り出しています。授業を受ける前後などに確認することを習慣化しましょう。

バッグに入れておきたい携帯防災セット



数千円で揃うミニマム安心グッズ

最小限の防災セットとは「停電」「帰宅困難」「軽傷」「救助要請」に備えた物。常に携帯できるように全てをバッグに入れてもかさばらず、重さは200g台に抑えています。100円ショップなどで購入できる物もあり、数千円でそろえられます。

携帯防災最少セット

1 

☑**モバイルバッテリー**
軽い薄型で十分。スマホを使い続けられるように

2 

☑**小型LEDライト**
停電時や夜間の移動に。キーホルダーサイズで十分

3 

☑**携帯ホイッスル**
校舎内に閉じ込められた際の救助要請に

4 

☑**簡易救急セット**
絆創膏、消毒綿、頭痛薬など。普段の体調不良に活用可

5 

☑**携帯トイレ**
薄型1、2枚で十分。帰宅困難時や断水時の備えに

“通学・通勤の足”をもっと知りたい

深掘り! 田園都市線&駒沢大学駅
東急電鉄株式会社 × 駒澤大学鉄道研究会

東急田園都市線と駒沢大学駅は身近すぎるあまり、じつはよく知らないことも……。
そこで今回「KOMAZAWA CROSS」初の学外ゲストとして東急電鉄の方々を招き
鉄道愛に満ちた鉄道研究会の２人との交流を実現しました。



鉄道研究会
創設は1966年。今年60周年を迎えた歴史は、現在の東急田園都市線が全線開通してからよりも長い。例年、会員は数十人を数え、夏と冬の合宿ではローカル線の車両を貸し切るのが恒例。「鉄道が好き」の対象は乗車、車両、音、駅、模型と幅広く、また旅行や写真撮影が主な目的の会員も。

田園都市線は最も東急電鉄らしい？

武井さん　私が入学した時、駒沢大学駅はリニューアル工事の真っ最中。駅が暗かったので、びっくりしたことを覚えています。工事が終わるときれいに、そして便利になって、また驚かされました。

林さん　私の家はずっと東急線沿線。リニューアル前を知っているので、その変貌ぶりに感動しました。

作田さん　入社してしばらく三軒茶屋駅にいた私にとって、駒沢大学駅はかつての職場[*1]といえ、愛着があります。その駒沢大学駅が第1弾になった「Green UNDER GROUND（グリーン・アンダー・グラウンド）」は、人と沿線地域と駅をつなぐことを目指したプロジェクト。ですから学生さんにそう言ってもらえるのは、私たちの願いが伝わっているようで嬉しいです。

林さん　田園都市線は、東急電鉄の中では後発の路線になると思うのですが[*2]、それゆえにでしょうか、沿線開発を含めて、東急電鉄らしさが最も現れている路線だと感じています。

武井さん　駒大に入学して初めて田園都市線に乗ったので、1年生の時に1度だけ中央林間駅までの全線を乗り通したことがあります。その時に感じたのは乗っている人たちが楽しそうだったことと、路線カラーと同じく沿線に緑が多いことでした。


2026年、こどもの国線で復活走行した8500系（撮影・鉄道研究会）

櫻井さん　田園都市線が走る、特に二子玉川駅より西の沿線は、かつてはほとんど山でした。私は生まれ育ちが田園都市線の沿線なので、人が住んでいなかった頃の風景を覚えていて。そこに鉄道を通し、駅やその周辺の街とともに発展させて新たな地域を作っていく。そうした沿線開発は、確かに東急電鉄らしい強みだと思います。

手塚さん　田園都市線だけにいえる、鉄道ファンにとっての強みも付け加えましょう。それは田園都市線には、東急電鉄の全車両（軌道線を除く）が入ってくるということ。長津田に工場があるため、二子玉川駅-長津田駅間にお住まいの方は、東急電鉄の電車を全て見られます。

林さん　鷺沼駅までなら、日比谷線（東京メトロ）の車両も見られます。車両といえば、この写真（P3の車両写真）。田園都市線で走っていた8500系[*3]が復活しましたね。

手塚さん　今年のゴールデンウィークにこどもの国線で4両編成にして走りました。

林さん　この写真を撮ったのは私ではありませんが、乗りには行きました。8500系はうちの会にもファンが多く、模型を作っていたOBは卒業後、東急電鉄に入社し、駅務に就いています。

駒大の校歌を発車メロディに！

CROSS TALK MEMBER

東急電鉄株式会社

(左) **作田 早風** さん
コーポレート本部 広報・マーケティング部 CX・マーケティング課

制服を着る仕事、日常を支える業務、特にインフラ事業に憧れ、東急電鉄に入社。三軒茶屋駅で駅務に従事した後、本社に異動し現職。現在は企画乗車券業務、地域深耕などに携わる。

(左から2人目) **櫻井 圭一** さん 運輸部 三軒茶屋駅 主任駅務係

田園都市線の沿線地域出身。学生時代、鷺沼駅でのアルバイトで社員の温かさに惹かれ入社。三軒茶屋駅と五反田駅の駅務、車掌、運転士を経て、再び三軒茶屋駅に。好きな東急電鉄の車両は2000系(すでに引退)

(左から3人目) **手塚 直樹** さん 運輸部 三軒茶屋駅 助役

東横線渋谷駅での駅務、目蒲線での車掌、世田谷線の運転士を経て、現在は三軒茶屋駅で駅係員の監督管理を担う。乗り鉄として、筑波山ケーブルカーを除く全国の路線を踏破。好きな東急電鉄の車両は150形(すでに引退)

鉄道研究会

(右) **林 朋樹** さん
前会長 法学部政治学科4年

東急線沿線で生まれ育ち、ものごころがついた時には鉄道好き。主なジャンルは「乗り鉄」。好きな路線は多様な車両が走り、沿線が魅力的な長野電鉄。東急電鉄の好きな車両は、子どもの頃の思い出と重なる1000系。

(右から2人目) **武井 瞳和** さん
副会長 仏教学部禅学科3年

中学生の時、先輩に誘われた鉄道旅を機に本格的な鉄道好きに。「乗り鉄」に、近年「音鉄」が加わった。好きな路線は、子どもの頃に祖母の家に行く時に使った近鉄奈良線。東急電鉄の車両では、東横線から副都心線に乗り入れる5050系が馴染み深い。

武井さん 私は、駒沢大学駅で聞けるアナウンスも好きです。電車が到着する直前に「間もなく……」と放送される女性の声は、たぶん20年くらい前の東横線と同じ方のアナウンスではないでしょうか。昔ながらというか、昭和っぽいところが良いと思って聞いています。

櫻井さん 駒沢大学駅を含め田園都市線の駅のアナウンスは、変わっていないですよね。

林さん 彼は「音鉄」でもあるので。

武井さん 「音鉄」は大きく分けて3種類います。モーターやインバーターの音が好きなのと、駅の発車メロディや発車ベルが好きという者。そして放送が好きという3種類。私が一番好きなのは発車ベルですが、どれも平たくやっています(笑)。

林さん そういえば以前、応援団から相談されたことがありました。駒沢大学駅の発車メロディを校歌にできないだろうか、と。

作田さん この場でできるかどうかはお答えできませんが、大学名が駅名ですから*4、実現できたら素敵だなと思います。

林さん ところで手塚さんも櫻井さんも鉄道好きとお見受けしますが、社内には鉄道マニアの方が一定数いらっしゃるのですか。

手塚さん 多くはないですよ。作田のように、インフラ分野への意欲で入社した社員もいますから。

作田さん 鉄道の知識がほとんどない状態で入社したので、当初は鉄道愛の強い社員とのギャップに戸惑いました(笑)。

東急電鉄の車両は貸し切れますか?

武井さん お願い、といいますか、問い合わせをもう一点。鉄道研究会は今年、創設60周年を迎えた記念に何かをしたいと考えています。そこで、先ほど話に出た8500系を、当会で貸し切ることはできるのでしょうか。

作田さん 東急電鉄に車両を貸し出した前例ってあったでしょうか……。

手塚さん 前例は分かりませんが、8500系であれば、こどもの国線で走らせた4両編成での定員が約600人。ですので、600人分の普通運賃の往復分がざっくりとかかるか、と……。

武井さん すみません、突拍子もないことをうかがいまして(笑)。

林さん 田園都市線への要望ということでは、もはや10両では足りなくなっているのではないか、と。また駒沢大学駅に急行を止めてほしい、または準急の本数を増やしてほしいと、ずっと思っています。この路線にQシート*5は必要ないと思いますが。

武井さん いや、田園都市線にQシートが導入されるなら、ぜひ乗りたいです。座席指定で通学することに憧れているんです。

作田さん Qシートを担当する部署に、大学生からうかがったご意見として共有したいと思います。

櫻井さん 田園都市線を普段利用してくださっている学生さんの意見を聞けて、当社の違った面が見えてきました。

手塚さん 沿線にファンがいてくれることは、ありがたいことだと今日改めて感じました。



鉄道研究会の、年2回の合宿ではローカル線の車両を貸し切ることが恒例(写真提供・鉄道研究会)

"鉄ちゃん"のとびら (本文注)

東急電鉄愛、鉄道愛にあふれた5人による座談会は、時としてマニアックな方向に。そこで誌面のやり取りで、「?」かもしれない箇所を解説します。知れば"鉄ちゃん"のとびらが開かれるかも。

＊1「三軒茶屋駅にいた私にとって、駒沢大学駅はかつての職場」

東急電鉄では、複数の駅(管内)を一つの管理駅がまとめており、駒沢大学駅は三軒茶屋駅の管内に含まれます。そのため三軒茶屋駅にかつて所属した作田さん、現在所属する手塚さん、櫻井さんにとって、駒沢大学駅も職場となります。

＊2「田園都市線は、東急電鉄の中では後発の路線」

東急田園都市線が全線(渋谷駅-中央林間駅)開通したのは、1984(昭和59)年。ただしこの時点では渋谷駅-二子玉川園駅を「新玉川線」、二子玉川園駅-中央林間駅を「田園都市線」として運行していました。現在のような全線を「田園都市線」という路線名で統一したのは2000(平成12)年です。

＊3「田園都市線で走っていた8500系」

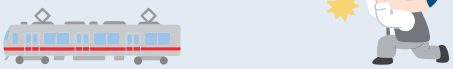
8500系車両はかつて、田園都市線を10両編成で走っていました。2023(令和5)年に完全引退しましたが、今年5月に動態保存を目的として、こどもの国線を4両編成で復活走行しました。

＊4「大学名が駅名ですから」

東京都内には、大学名が駅名になっている駅が11駅(12大学)あります。ただし実際に駅近に大学があるのは、駒沢大学駅を含め5駅だけです。

＊5「Qシート」

東急電鉄が運行する有料座席指定サービスのこと。現在、東横線と大井町線に導入されています。





東急電鉄と駒澤大学との連携 (主に駒沢大学駅リニューアル後)

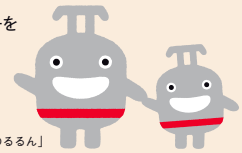
田園都市線で地下にホームがある5駅をリニューアルする「Green UNDER GROUND」の第1弾として、2025年3月に駒沢大学駅が生まれ変わり、東急電鉄と駒澤大学の連携活動も活発化しています。

●2025年11月
駒澤大学主催・東急電鉄株式会社共催による「駒大生社会連携アイデアコンテスト」を開催。応募されたアイデアから、最優秀賞ほか各賞が選ばれました。

●2025年11月
経済学部の長山ゼミの学生が、「世田谷線沿線まちづくりこれからの100年を考えるワークショップ」に参加し、「三軒茶屋駅エリア」の班で話し合った内容を発表。その様子は、NHKニュース(首都圏版)で報じられました。

●2026年2月
2025年12月～翌年1月、本学陸上競技部への応援メッセージを駒沢大学駅のデジタルサイネージで放映。翌月、東急電鉄の取締役ほか関係者を本学にお招きし、「駒澤大学陸上競技部箱根駅伝激励会」を開催しました。

●2026年8月
駒沢大学駅構内ラックに駒澤大学が発行する冊子を配架しています。



「東急電鉄キャラクター のるるん」

支援の達人。05 国際センター編

海外で生活して学ぶ自分を想像してみてください



INTERVIEW
国際センター
高橋（たかはし） 暁宇（しょうう）さん

出身は中華人民共和国。2024年に駒澤大学に入職し、国際センターへ。担当は、世界各地にある協定校に本学から留学生を派遣する交換留学。説明会の開催、出願から応募までの一連を取りまとめている。留学相談室が開いていない期間・時間は、留学全般の相談にも対応する。

キャンパスにいながら日本語による国際交流も

国際センターの活動は、駒澤大学のグローバル化を目的としています。駒大生の留学を企画・運営するほか、留学への関心や意欲を高めてもらう説明会や「グローバルフェア」を実施しています。留学準備の支援策として、語学試験の学内団体受験の実施や、語学検定の受験料補助などの制度も整えています。

キャンパスのグローバル化にも力を注いでおり、3号館の「グローバルラウンジ『KOSE（キッシュ）』」を拠点に、協定校からの留学生と気軽に交流できる環境を整えています。具体的には、交換留学生が集う「グローバルサロン」があげられます。

「グローバルサロン」には毎回、外国人留学生と駒大生合わせて30～40人が参加。英語、仏語、独語、中国語など母国語別のテーブルを設けて交流を深めています。

知ってほしいのは、そこに日本語のテーブルもあること。外国語力に自信がなくても国際交流をしてみたいという方は、ぜひお越しください。外国人学生が日本語による会話を学ぶ、お手伝いになります。またそれ以外には、協定校の海外学生を対象とした「KOMSTUDY（コムスタディ）」のボランティアとして参加することで留学生と交流することもできます。

異文化を浴びて成長する学生

このように本学は、キャンパスにいながら国際交流ができる機会を整えています。それでも私は、現地に行って自身の目で見て、肌で感じる体験がとても重要だと考えています。留学して人間として大きく成長した学生を何人も見てきました。ぜひ学生時代に日本を出て、異文化の中で生活したり学んだりしてほしいと願っています。国際センターのウェブサイトやインスタグラムには、先輩方の留学体験記を掲載しています。ぜひ一度ご覧ください。

留学には語学力や成績、経済的負担や帰国後のことなどの心配ごとが伴うかもしれません。その不安を共有し、実現可能な留学を一緒に考えるのも私たちの仕事。準備や手続きには時間がかかるため、早めの取り組みが肝心です。芸能やスポーツなどから湧いた海外への関心が、留学につながることも。世界への興味を少しでも感じたら、まずは国際センターや留学相談室を訪ねてみてください。

国際センター

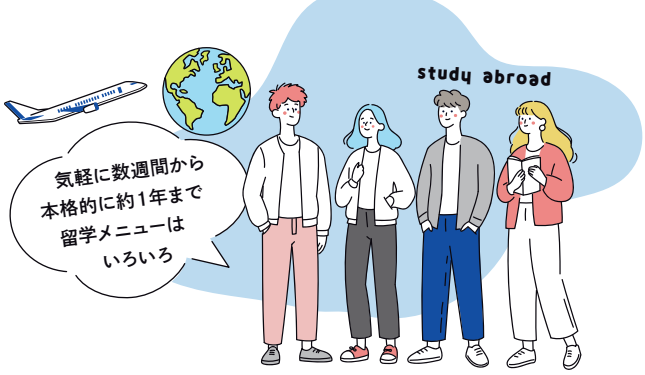


国際センター Instagram
「komazawa_intl」
留学に関する説明会の開催や募集、国際交流イベントの告知などの情報を発信しています。

飛び立て、好奇心・意欲を翼に！

駒大サポート便利帖

駒澤大学独自の留学・語学支援



外国で学ぶ、国外で生活する、語学力アップのきっかけにするなど、目的を持った海外経験は、観光とは違う満足感や達成感をもたらしてくれるはず。わずかでも興味や関心があるなら、留学相談室を訪ねてみてはいかがでしょう。

START

大学での学びと留学を両立したい

海外経験を経て本格留学へ

[認定校留学]教授会における書類審査
[交 換 留 学]書類審査、筆記・口頭試験（非英語圏のみ）、面接

短期留学を希望

半年または1 年の長期留学を希望

春季・夏季の休暇を利用して手軽に

留学先の選択肢を増やしたい

留学中の学費免除

短期語学セミナー

約1カ月間の団体語学研修

研修期間 3〜4週間
研 修 先 協定校（英語セミナー5校、フランス語セミナー1校、ドイツ語セミナー1校、スペイン語セミナー1校、中国語セミナー1校）
募　　集 4月、10月

春と夏の休暇中に協定校で実施する約1カ月の語学研修です。学生寮への滞在やホームステイにより現地の生活も体験できるため、「交換留学」や「認定校留学」の入門としても活用できます。

認定校留学

留学先を選び専門科目を学ぶ

留学期間 1年間または半年間
対 象 校 任意（日本の大学に相当し、本学が認定する高等教育機関）
※本学の協定校は除く

- 秋出発 申請 4月末まで
- 春派遣 申請 10月末まで

認定校留学では、自身で探し本学が認定した海外の教育機関で、所属する学部の専門科目を１年間または半年間学びます。

交換留学

駒大を代表し協定校で学ぶ

留学期間 原則1年間
対 象 校 協定校（アジア8校、北アメリカ2校、ヨーロッパ10校、オセアニア1校）

- 春派遣 募集・申請 5月　出発 2・3月　帰国 翌年度10-12月
- 秋派遣 募集・申請 11-12月　出発 翌年度8・9月　帰国 出発した翌年度5-7月

交換留学では、本学と協定を結ぶ海外の大学（協定校）に交換留学生として1年間在籍し、学部・学科に応じた専門科目を学びます。

※各留学制度の詳細は国際センターにお問い合わせください。

留学の準備にもなる学内国際交流

キャンパス内で留学生と交流を深めることは、外国人学生の訪日経験を豊かにし、一方で日本人学生にとっては学内にいてグローバル感覚を磨き、留学先で現地学生と交流する模擬体験にもなります。学内で国際交流できる主な活動や場は次の通りです。

グローバルサロン
月に2、3回、昼休みに交換留学生と会話を楽しみ交流する機会を設けています。

グローバルラウンジ「KISH」
国際交流イベントや留学関連の説明会が開かれる3号館のスペースです。

来日プログラム「KOMSTUDY」
協定校の学生が日本語を学んだり日本文化を体験したりするプログラム。留学生の授業や生活をサポートする日本人学生ボランティアを、毎年4月に募集しています。

「留学相談室」活用法

開室日時
4月、11月 ― 平日毎日開室
開室日時の確認と予約 ≫

留学相談室では、留学支援を専門とする外部のエージェントが、留学にまつわる問い合わせや相談に対応します。留学や海外に対する興味・関心がモヤモヤしている状態でも、訪ねてみましょう。チャレンジしようとしているあなたの、心強い味方になってくれるはずです。

留学相談室から
留学や海外に興味はあるけれど、まだモヤモヤしている。そんな段階でも大丈夫です。私たちと対話しながら、あなたに合った留学や海外体験を一緒に考えていきましょう。留学にはさまざまな準備や手続きが必要です。「行ってみたい」と思ったら、早めに留学相談室へ。

駒澤大学 学園通信［コネクト］ VOL.361【2026年10月31日発行】 発行所：駒澤大学 広報戦略室 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1 TEL:03-3418-9828 FAX:03-3418-9776 https://www.komazawa-u.ac.jp/







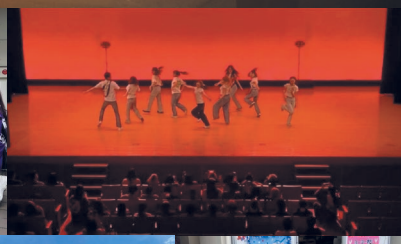
駒澤大学大学祭
オータムフェスティバル2026

メインテーマ
Frontier

2026.10.31-11.1

Instagram











オータムフェスティバルは毎年秋に駒沢キャンパスで開催する駒澤大学の大学祭です。
実行委員会は約150人で構成され、1年をかけてオータムフェスティバルの円滑な運営を目標に活動しています。
オータムフェスティバルの魅力はサークルやゼミなど在学生のみならず、周辺地域の方々や駒澤大学卒業生のみなさんと結びつきが強いことです。
多くの方の協力を得ながら、学生主体のオータムフェスティバルの成功を目標にしています。
当日に来場していただいたみなさんの思い出に残り、また来年も来たいと言っていただける大学祭を目指して実行委員一同全力で準備をしています。
ご来場いただけることを心よりお待ちしております。

受験生も必見！ 学生の日常、イベント、ニュースなど、駒澤大学の“今”を発信しています。

駒澤大学
公式HP
https://www.komazawa-u.ac.jp

Instagram
駒澤大学
入学センター
@komazawa_nyugaku

CONNECT ONLINE
駒澤大学が
“もっと”好きになるWebメディア
駒大PLUS+

『Konnect』とは?

KOMAZAWA × Connect の想いを込めたネーミングです。「学生同士」「学生と教職員」「大学と地域・社会」など、駒澤大学を起点に、学内外で広がる多様なつながりを紹介します。

読者アンケートにご協力ください

『Konnect』をご覧いただきありがとうございます。今後のコンテンツづくりの参考のため、右記QRコードより皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

アンケートはこちら⇧